

中1 歴史 近代ヨーロッパ

講師：河原 数馬

<学習内容>

- ▶ 変わる欧米諸国
- ▶ イギリスの革命
- ▶ アメリカ合衆国の独立
- ▶ フランスの革命
- ▶ イギリスの産業革命
- ▶ イギリスのアジア侵略

イギリスの革命

■イギリスの革命

17世紀半ば, イギリスでは国王が議会を無視して税を課すなど, 思いのままの政治をおこなった。

⇒ 1688年, 議会は国王を追放し, 新しい国王を外国からむかえ即位させた (名譽革命)。

■イギリスの議会政治

新国王は, 国民の自由と権利を守ることを約束し, その約束は**権利の章典**として, 以後イギリス政治の基本となる。

アメリカ合衆国の独立

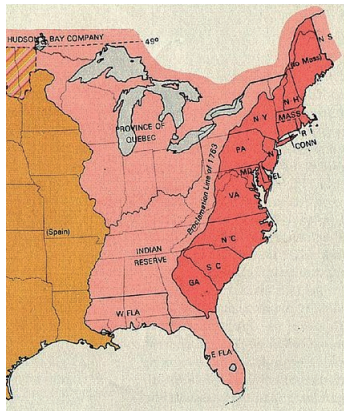
■イギリスからの独立

北アメリカの東部はイギリスの植民地であった。イギリスがアメリカに対して、新しい税金を課したことに植民地の人々が反対し、独立戦争（1775年～1783年）が起きた。

■独立宣言：1776年

アメリカの人々が、イギリスからの独立を宣言したものの。

▶イギリスのアメリカ植民地（濃くなっている部分）



▶独立宣言の発表



空欄補充問題

次の文中の（ ）に当てはまる適切な語句をそれぞれ答えなさい。

1688,89年に（ A ）革命によって、議会を尊重する国王を立てて（ B ）を制定した。

A：名誉

B：権利の章典(権利章典)

空欄補充問題

次の文の空欄に共通して当てはまる単語を答えなさい。

アメリカはイギリスの課税に反対し（ ）戦争を開始した後、1776年に（ ）宣言を発表した。

独立

フランスの革命

■ フランス革命：1789年

国王や大貴族中心の政治に対する人々の不満が爆発し、国王が倒され、共和政が誕生した。

※共和政…国王ではなく国民の意思に基づいて政治が行われる体制。

■ 人権宣言

フランス革命が起きた時に発表された人権に関する宣言。自由や平等などがうたわれた。



▲ 民衆を支配する貴族



▲ バスティーユ牢獄の襲撃

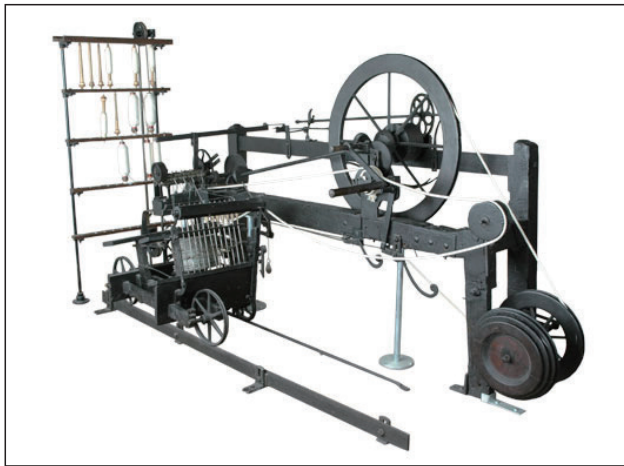
イギリスの産業革命

■産業革命

18世紀後半のイギリスでは、機械による大量生産が可能となり、産業や社会のしくみが大きく変化した（産業革命）。

■資本主義の社会

利益を求めて自由に競争し、生産のもとでになる資金（資本）をもっている経営者が労働者を雇うしくみのことを資本主義という。



◀ ミュール紡績機



◀ イギリスの工場

四択問題

フランス革命について述べた文として正しいものを次の①～④の中から選びなさい。

- ① 国王による絶対王政が倒され、人権宣言が発表された。
- ② ピューリタン革命(清教徒革命)がおこり、共和制が実現した。
- ③ 国王が国外に追放され、権利の章典により立憲君主制が定められた。
- ④ 独立宣言が発表され、生命・自由・幸福を追求する権利などが明記された。

①

入試問題（平成 24 年度 山口県公立高校入試問題・改）

産業革命により，生産のもとでとなる資金などをもつ者が，労働者をやとって生産を行う経済のしくみが生まれたが，このしくみを何と
いうか。答えなさい。

資本主義

イギリスのアジア侵略

■アヘン戦争

アヘンを厳しく取り締まった清に対し、イギリスは1840年に軍艦を送り、勝利した(アヘン戦争)。1842年には南京条約が締結され、イギリスは香港を手に入れ、清に賠償金を支払わせた。



▲アヘンの吸引者



▲アヘン戦争